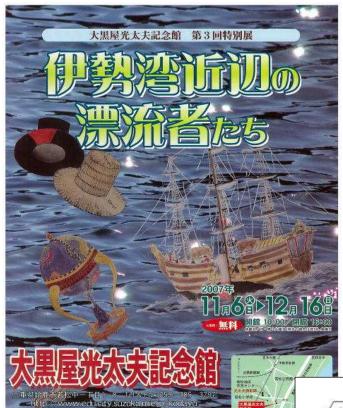
第3回特別展 伊勢湾近辺の漂流者たち



大県屋北太夫記念館 第3回時初展

伊勢湾近辺の漂流者たち

電車もトラックもなかった江戸時代。 船は欠かすことのできない物流・交通の 手段でした。京や大阪に近く、真路に恵 まれた伊勢湾では、各地の産物を位所へ 運ぶための翅影楽が発達し、全国的な展 開をみせました。また、 熊野灘と遠州灘 は、船の部所として知られており、伊勢 湾の湊はその途中に位置する格好の待差 港でもありました。伊勢湾には、多くの 船が行き交い、そして時には、部船・部 強の舞台にもなったのです。

「撤資」と言えば、伊勢若松の大規謀 光太夫がもっとも有名です。 しかし、伊 物湾が生んだ源道者は、実は光太夫だけ ではありませんでした。今回の特別展で は、志摩の省宮丸、尾張の唇乗丸、 緑美 の永久丸など「伊勢病近辺の推満者たち」 が残した源病の配録を紹介します。



TREAD PROFIL MARRIERES



THERE, HERBERT CHES HEADY VAN

医亚利之市 (江戸政治中区県経済大阪門県保証) 原型中中文公司経験主文部 (保証人主張文法)

3.2 第一段所

- · 「勤務任政」京都寺報 新城市指定文化財
- 「試見回答」田原右提差無土資料監查 田原市推定文化提
- * 「此代真明有新田橋小平的衛內清朝江代祝福報後之事」 **神戸大学前別前別数 (年世文章) など** 会用中、一個展示量があります。

金額・用的なフレットを無料配布します。 (二〇〇)

大黑屋光太夫記念館

〒510-0224 三重系統宣布若松中一丁日1-8

